



平成 19 年度 事業報告書

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

学校法人駒澤大学

平成19年度 事業報告書

目 次

・法人の概要

1．沿革	P．1
2．法人の設置する学校	P．2
3．所在地一覧	P．3
4．学校法人駒澤大学学生・生徒数	P．3
5．学校法人駒澤大学事務組織図	P．5
6．役員等の概要	P．6
役員	
評議員	
7．学校法人駒澤大学教職員数	P．6

・主な事業の概要

1．学部・学科の新增設等	P．7
2．教育・研究・学生支援	P．7
3．施設設備等の整備	P．11
4．管理・運営	P．12
5．地域社会との連携及び貢献	P．14

・財務の概要

1．資金収支計算書の推移	P．16
2．消費収支計算書の推移	P．17
3．貸借対照表の推移	P．18

・法人の概要

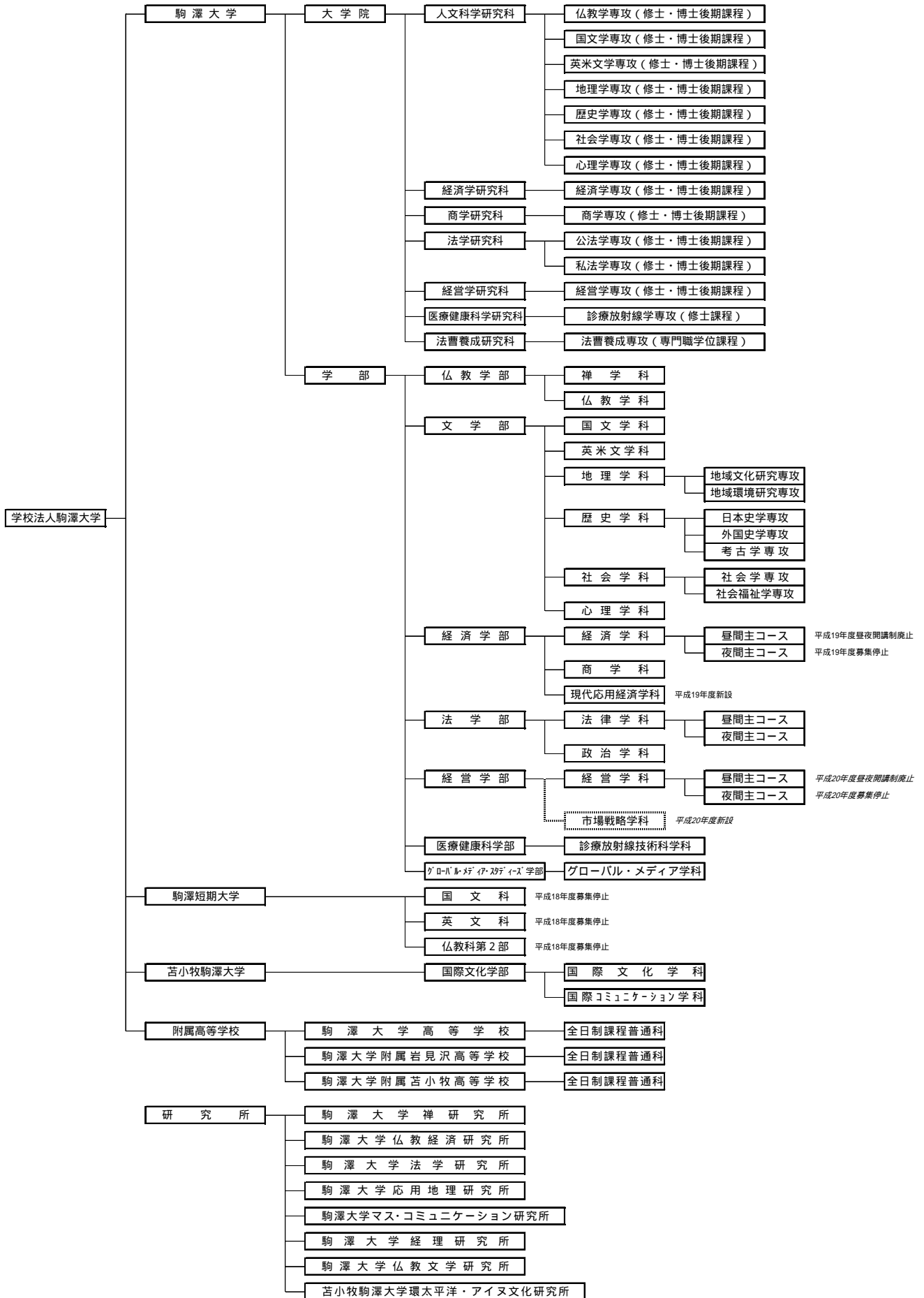
1. 沿革

文禄元年（1592年）	江戸駿河台吉祥寺境内に「学林」設立
明暦 3年（1657年）	吉祥寺駒込に移転 中国の名僧・陳道栄が「旗檀林」と命名
明治 8年（1875年）	「曹洞宗専門学本校」を青松寺獅子窟学寮内に開校
明治 9年（1876年）	曹洞宗専門学本校を駒込吉祥寺に移して旗檀林と合併
明治15年（1882年）	麻布日ヶ窪に校舎を新築して移転、10月15日に校名を「曹洞宗大学林専門学本校」とし、 本学の開校記念日とする。
明治23年（1890年）	「曹洞宗大学林」と改称
明治37年（1904年）	専門学校令による大学として認可
明治38年（1905年）	校名を「曹洞宗大学」と改称
大正 2年（1913年）	大学を現在の駒沢（旧東京府荏原郡駒澤村）の地に移転
大正14年（1925年）	大学令による大学として認可、「駒澤大学」と改称
昭和23年（1948年）	駒澤大学高等学校を設置
昭和24年（1949年）	学制改革により新制大学に移行 仏教学部、文学部、商経学部の3学部9学科で再スタート
昭和25年（1950年）	駒澤短期大学仏教科第2部を設置
昭和26年（1951年）	学校法人令による学校法人駒澤大学に組織変更
昭和27年（1952年）	駒澤大学商経学部に第2部を設置 駒澤大学大学院人文科学研究科を設置
昭和36年（1961年）	駒澤エックス線技師学校創設
昭和37年（1962年）	駒澤短期大学に国文科・英文科を増設
昭和39年（1964年）	駒澤大学法学部を設置 北海道教養部、駒澤大学附属岩見沢高等学校・苫小牧高等学校を設置
昭和40年（1965年）	岩見沢駒澤短期大学国文科、苫小牧駒澤短期大学国文科・英文科を設置
昭和41年（1966年）	駒澤大学商経学部第1部・第2部を経済学部第1部・第2部に名称変更し、商学科を増設 駒澤大学大学院も昭和41年（1966年）から約10年の間に12専攻に
昭和42年（1967年）	駒澤大学文学部に地理学科・歴史学科を増設 駒澤短期大学に放射線科を増設 苫小牧駒澤短期大学に食物栄養科を増設
昭和44年（1969年）	駒澤大学経営学部を設置
昭和46年（1971年）	駒澤大学法学部と経営学部に第2部を増設
昭和47年（1972年）	駒澤大学法学部に政治学科を増設
昭和57年（1982年）	駒澤大学開校100周年
平成元年（1989年）	苫小牧駒澤短期大学を駒澤大学苫小牧短期大学に改称 岩見沢駒澤短期大学廃止
平成 4年（1992年）	「学林」設立以来400年を迎える
平成 8年（1996年）	駒澤短期大学に専攻科を設置
平成10年（1998年）	駒澤大学文学部に心理学科を増設 苫小牧駒澤大学開校、国際文化学部国際文化学科を設置 駒澤大学高等学校開校50周年
平成11年（1999年）	北海道教養部廃止
平成12年（2000年）	駒澤大学経済学部・法学部で昼夜開講制実施
平成14年（2002年）	駒澤大学開校120周年 経営学科で昼夜開講制実施 苫小牧駒澤大学に国際コミュニケーション学科を増設
平成15年（2003年）	駒澤大学医療健康科学部診療放射線技術科学科を設置 駒澤大学苫小牧短期大学廃止
平成16年（2004年）	駒澤大学大学院法曹養成研究科（法科大学院）を設置 駒澤大学附属岩見沢高等学校・苫小牧高等学校開校40周年
平成18年（2006年）	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科を設置
平成19年（2007年）	駒澤大学経済学部に現代応用経済学科を増設 駒澤大学大学院に医療健康科学研究科を設置 苫小牧駒澤大学開校10周年

2. 法人の設置する学校

学校法人駒澤大学教育機構図

(平成20年3月31日現在)



3. 所在地一覧

大学・短期大学	駒澤大学・駒澤短期大学	
	駒沢キャンパス	東京都世田谷区駒沢1-23-1
	深沢キャンパス	東京都世田谷区深沢6-8-18
	玉川キャンパス	東京都世田谷区宇奈根1-1-1
	苫小牧駒澤大学	北海道苫小牧市錦岡521-293
高等学校	駒澤大学高等学校	東京都世田谷区上用賀1-17-12
	駒澤大学附属岩見沢高等学校	北海道岩見沢市緑が丘5-102
	駒澤大学附属苫小牧高等学校	北海道苫小牧市美園町1-9-3

厚生施設：駒澤大学野尻寮（長野県上水内郡）・駒澤大学富浦セミナーハウス（千葉県南房総市）

4. 学校法人駒澤大学学生・生徒数

【駒澤大学】

（平成19年5月1日現在）

		学部・学科・専攻	入学定員	学生数	備考	
駒澤大学	仏教	禪	75	367	平成16年度歴史学科を3専攻設置。入学定員を変更 平成19年度昼夜開講制廃止、夜間主コース募集停止、入学定員・編入学定員変更 平成19年度設置 平成16年度入学定員・編入学定員変更 平成18年度設置	
		仏教	105	570		
		小計	180	937		
	文	国文	国文	125		699
			英米文	125		788
		地理	地域文化研究	65		351
			地域環境研究	60		313
		歴史	歴史	-		26
		歴史	日本史学	90		474
			外国史学	65		365
			考古学	35		181
		社会	社会学	60		350
			社会福祉学	80		383
	心理	心理	80	448		
	小計		785	4,378		
経済	経済	昼間主コース	-	1,382		
		夜間主コース	-	517		
	経済	360	451			
	商	240	1,202			
	現代応用経済	130	180			
小計		730	3,732			
法	法律	昼間主コース	300	1,623		
		夜間主コース	150	657		
	政治	200	1,025			
	小計	650	3,305			
経営	経営	昼間主コース	360	1,895		
		夜間主コース	150	666		
	小計	510	2,561			
医療	診療放射線技術科	60	285			
GMS	グローバル・メディア	300	777			
合計			3,215	15,975		

GMS学部（グローバル・メディア・スタディーズ学部）

【駒澤大学大学院】

課程	研究科	専攻	入学定員	学生数	備考
修士課程	人文科学研究科	仏教学専攻	20	43	平成16年度入学定員変更
		国文学専攻	5	7	
		英米文学専攻	5	5	
		地理学専攻	5	10	
		歴史学専攻	15	30	
		社会学専攻	5	5	
		心理学専攻	10	26	
	小計	65	126		
	経済学研究科	経済学専攻	10	17	平成19年度設置
	商学研究科	商学専攻	15	14	
	法学研究科	公法学専攻	5	5	
		私法学専攻	5	1	
	小計	10	6		
経営学研究科	経営学専攻	10	11		
医療健康科学研究科	診療放射線学専攻	10	11		
計		120	185		
博士後期課程	人文科学研究科	仏教学専攻	5	20	平成18年度入学定員変更
		国文学専攻	2	2	
		英米文学専攻	2	1	
		地理学専攻	2	1	
		歴史学専攻	6	17	
		社会学専攻	2	2	
		心理学専攻	2	6	
	小計	21	49		
	経済学研究科	経済学専攻	2	6	平成16年度設置
	商学研究科	商学専攻	2	2	
	法学研究科	公法学専攻	2	2	
		私法学専攻	2	0	
	小計	4	2		
経営学研究科	経営学専攻	2	2		
計		31	61		
専門職学位課程	法曹養成研究科	法曹養成専攻	50	132	平成16年度設置
大学院 合計			201	378	

【駒澤短期大学】

	科	入学定員	学生数	備考
駒澤短期大学	国 文	-	13	平成18年度より募集停止
	英 文	-	16	平成18年度より募集停止
	計	-	29	
	仏教(第2部)	-	7	平成18年度より募集停止
	合 計	-	36	

【苫小牧駒澤大学】

	学部・学科	入学定員	学生数	備考
苫小牧駒澤大学	国際文化	国際文化	150	平成17年度より入学定員変更
		国際コミュニケーション	50	平成17年度より入学定員変更
	合 計	200	524	

【附属高等学校】

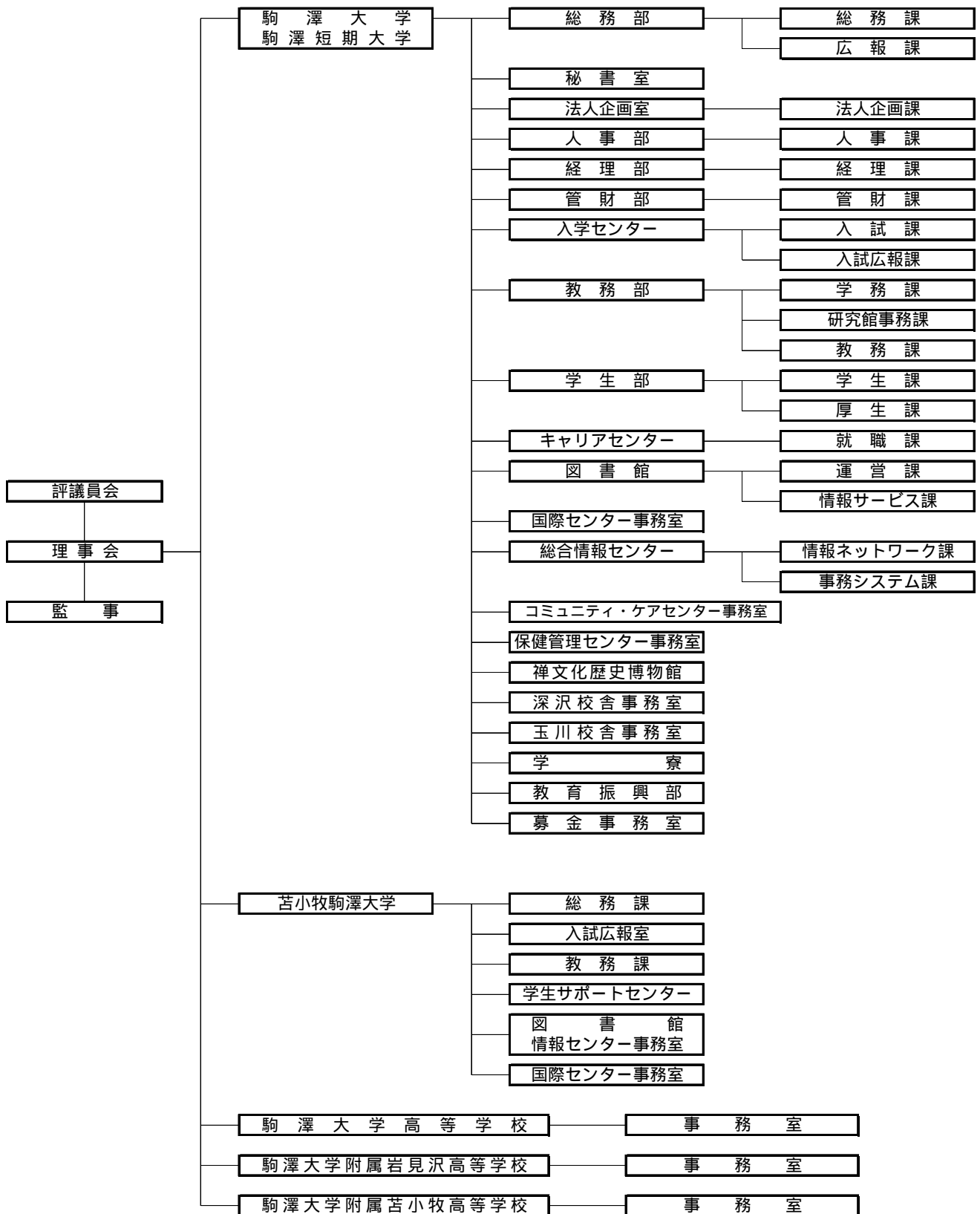
学校名	課 程	入学定員	生徒数	備考
駒澤大学高等学校	全日制普通科	500	1,566	平成17年度より入学定員変更
駒澤大学附属岩見沢高等学校	全日制普通科	180	246	
駒澤大学附属苫小牧高等学校	全日制普通科	300	893	
附属高等学校 合計		980	2,705	

法人全体	4,596	19,618	
------	-------	--------	--

入学定員に編入学・再入学は含まない。

5 . 学校法人駒澤大学事務組織図

(平成20年3月31日現在)



6. 役員等の概要

(平成20年3月31日現在)

役員

理事 22人
監事 3人

	氏名		氏名
理事長	宮本延雄	理事	片山晴賢
常任理事	大谷哲夫	理事	浦敏之
常任理事	池田練太郎	理事	小山田秀康
常任理事	川本勝	理事	小玉章紀
常任理事	高橋正弘	理事	石井修道
理事	有田恵宗	理事	山縣弘志
理事	乙川暎元	理事	金子昇平
理事	葦原正憲	理事	滝田公一
理事	宮前正道	理事	清水善和
理事	荒澤義範	理事	小林清次郎
理事	千葉省三	理事	岩根嶺雄

	氏名
監事	淵英徳
監事	森嶺雄
監事	藏山光堂

評議員 55人

(寄附行為選任条文)		
第25条第1項第1号	教職員のうちから選任	(26~27人)
第25条第1項第2号	同窓生のうちから選任	(6人)
第25条第1項第3号	学生生徒の父母又は保証人のうちから選任	(2人)
第25条第1項第4号	理事のうちから選任	(15人)
第25条第1項第5号	学識経験者のうちから選任	(6人)
第25条第1項第6号	駒澤大学事務局長経験者のうちから選任	(3人以内)

7. 学校法人駒澤大学 教職員数

平成19年度学校別教職員数(専任)

(平成19年5月1日現在)

学校名	教員	職員	教職員計
駒澤大学・駒澤短期大学	347	253	600
苫小牧駒澤大学	27	23	50
駒澤大学高等学校	58	7	65
駒澤大学附属岩見沢高等学校	23	4	27
駒澤大学附属苫小牧高等学校	47	8	55
計	502	295	797

．主な事業の概要

1．学部・学科の新増設等

【駒澤大学】

経済学部現代応用経済学科の開設（平成 19 年 4 月開設）

経済学部経済学科夜間主コースを改組し、平成 19 年 4 月 1 日に開設した「経済学部現代応用経済学科」（定員 130 人）は、順調にスタートしました。

大学院医療健康科学研究科診療放射線学専攻修士課程の開設（平成 19 年 4 月開設）

平成 19 年 4 月 1 日に開設した「大学院医療健康科学研究科診療放射線学専攻修士課程」（定員 10 人）は、高度化する医療及び画像情報に対応できる高度専門職業人並びに指導者の養成を目指しています。

経営学部市場戦略学科の設置（平成 20 年 4 月開設）

経営学部経営学科夜間主コースを改組し、平成 19 年 8 月 1 日文科科学省に新学科「経営学部市場戦略学科」として届出を行い受理されました。これにより平成 20 年 4 月 1 日より経営学部は経営学科と市場戦略学科の 2 学科となりました。

学部・学科等の廃止

学生募集を停止していた経営学部第 2 部経営学科は、平成 19 年度の卒業生をもって在学生在がいなくなったことから廃止しました。

2．教育・研究・学生支援

【駒澤大学】

授業・カリキュラム改革

既存のシラバスデータベースの運用方法を見直し、平成 21 年度稼働予定の学生ポータルサイトの構築において必要な開発要件をまとめることができました。これに伴い教務部基幹システムの改良に必要な要件も検証することができました。

FD 活動の充実に向けた取り組みを行っています。

- ・ 学生による授業アンケートの実施（2 回）
- ・ FD 研修会の実施（1 回）
- ・ 公開授業の実施（15 回）
- ・ 『FD NEWSLETTER』刊行（4 回）

情報教育の充実

平成 19 年度の主な取り組みは次のとおりです。

- ・ 情報教育用マルチメディア教場（1 - 201 教場）システム整備
- ・ 情報教育用コンテンツ作成支援システム整備
- ・ マルチメディア教育 CAI システム導入
- ・ 情報教育用パソコンシステム導入

- ・情報教育推進のための講習会実施
- ・モバイルパソコン購入時の学生への補助
- ・キャンパスネットワーク運営支援やトラブル対応等の情報支援体制整備

国際交流の推進・充実

平成 20 年 1 月 14 日にカイロ大学（エジプト）と国際交流協定を締結し、平成 20 年 9 月から交換留学生の派遣と受け入れを開始することで両大学の学術交流を深めていきます。

北京大学から客員研究員 2 人を受け入れ、歴史学科から 2 人の教員が北京大学を訪問し講演を行うなど国際交流を推進しています。

留学希望者等への語学学習支援のため TOEFL®・TOEIC®講座を実施し、語学力の向上を図りました。

私費外国人留学生奨学金の拡充

私費外国人留学生に対し授業料の 40%減免を行っています。留学生の受け入れ数は年々増加しており、平成 19 年度減免採用者は 252 人でした。

大学院生学会発表への助成

「大学院学生の国外学会発表への助成に関する規程」及び「大学院学生の国内学会発表への助成に関する規程」を制定し、大学院学生が国内外における学会で研究発表を行う時には交通費、宿泊費及び資料作成費の一部を助成することになりました。

法科大学院アドバイザー弁護士制度の導入

第一東京弁護士会から派遣された若手弁護士が、毎週 2 時間にわたり学生からの相談に応じて自己の経験や知見をもとにアドバイスする制度を導入し、法曹育成教育の更なる強化を図っています。

電子図書館の推進

禅籍データベースとして禅籍善本図録所収外の貴重書・禅籍の電子化を行いました。

教育懇談会の充実

全国 21 ブロック 41 会場において、大学の近況報告と学業・就職・学生生活の様子などを保証人（ご父母等）にご理解いただくと共に個別相談会を実施しています。平成 19 年度から各県の行政担当者による Uターン情報説明会も始めました。

就職支援・キャリア支援の強化

3 年生対象の「合同企業説明会」を初めて体育館アリーナで開催し、参加企業数は 230 社、参加学生数は延 2,392 人と大盛況でした。インターンシップも夏季・春季の 2 回実施し、多くの学生に就業体験の機会を与えることができました。

学生募集の強化

平成 20 年度入試は、全学部統一日程入試の導入や新学科（経営学部市場戦略学科）開設の広報効果により、合計志願者数では前年度比 3,111 人の増加となりました。

大規模自然災害被災者支援

大規模自然災害（地震・台風・豪雨・噴火等）により被災した学生に対して、その被災状況に応じた経済的措置を講じています。

仏教行事

曹洞宗宗立の大学という歴史を持ち、様々な仏教行事を行っています。

【苫小牧駒澤大学】

授業・履修等の改善

平成 18 年 5 月からカリキュラム検討委員会を設置し、平成 22 年度導入に向けて検討を重ねています。

特色ある講義

公私協力として苫小牧市現役幹部職員（部長・課長）による特別講座「自治行政」・「地方自治法」、及び北海道庁現役・OB 職員の実務経験豊富な講師陣による北海道特別講座「財政論」を開講しています。

エクステンション講座の実施

資格を取得することで自己の能力を伸ばし社会で活躍できる人材育成を目指す目的で、平成 19 年度は 1 講座（宅地建物取引主任者）開講しました。

学生交換協定の締結

平成 19 年 12 月 14 日、三育大学校（韓国）との間で学生交換協定を締結しました。

環太平洋・アイヌ文化研究所（略称：APC）

市民を対象としたアイヌ文化講座を春（5～7 月）と秋（9～11 月）の 2 回開催し、地域文化理解の促進に努めました。

・アイヌ刺繍講座、アイヌ語講座を各々全 10 回開催

アイヌ文化学生フォーラムを組織してシベリア先住民文化交流事業（財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構）を行いました。

【駒澤大学高等学校】

開校 60 周年記念奨学金制定

生徒の保護者が経済的急変により学費負担が著しく困難な場合に授業料を免除する奨学金制度を新設しました。

環境教育の充実

平成 18 年度に長野県信濃町に県の森林里親制度により開設した「駒澤大学高等学校絆の森」において、学校林作りの体験を通じて環境教育を実施しました。

キャリア教育の充実

生徒の職業に対する意識を高めさせ、健全な社会人になるべく人材の育成を目指すため、様々な社

会分野で活躍する方々の講演会を開催しました。

スクールカウンセラーの配置

教育相談室にスクールカウンセラーと精神科医を配置し、生徒のみならず保護者の方々にも学校内・家庭内問題、進路問題、交友関係など多岐に渡る問題の相談相手となり、問題解決の手助けを行っています。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

カリキュラム改正

コース制の廃止とクラス統合、特色を出す学校設定科目の充実、高大一貫教育に向けた教育課程を設置するなどカリキュラムを一新し、生徒の実体に適応させる新教育課程を開始しました。

タイ奨学生招聘交流、国際理解講座の実施

シャンティ国際ボランティア会（SVA）の協力の下、タイ奨学生（高校生6人）を招き、招聘交流（文化交流会）を実施しました。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

各種検定への取り組み

生徒の可能性を広げるためにPTAとタイアップ（資金援助）して、各種検定に積極的に取り組んでいます。平成19年度は「英語検定・漢字検定・数学検定・硬筆毛筆書写検定・IT検定・危険物取扱者検定」延べ398人の受験があり、着実に成果をあげ上級合格の実績を上げています。

国際交流への取り組み

マラスピナ高校（カナダ）、タマティア高校（ニュージーランド）の2校と姉妹提携を締結し、交換留学を行い生徒の国際感覚の育成に取り組んでいます。

上記の交流プログラムの他に、平成19年8月には苫小牧駒澤大学との連携教育事業の一環として「ロシア北欧少数民族の文化視察研修」に2人の生徒を派遣しました。

インターンシップ

看護系の進路希望者を対象に、市内の医療機関で介護や看護を体験する「ふれあい看護体験」を1回実施しました。また、本校PTA関係者が経営する企業等の協力をいただき、3年生の就職希望者を対象にした「就労体験行事」を実施しました。

基礎学力の定着を図る学習指導の取り組み

中学校段階の学習理解が十分でない生徒に対して、入学後の早い時期に「スイッチバック（学び直し）方式」による基礎学力を定着させる学習指導を平成20年度より導入するために、教材（国語・数学・英語のテキスト『高校学習へのアプローチ』）を作成するなど、具体的な準備と研修を行いました。

3. 施設設備等の整備

【駒澤大学】

第3期周辺道路整備工事

道路3期工事（旧修道館・竹友寮解体及び旧修道館～駒沢公園入口道路付替え）施工業者が決定しました。

玉川キャンパス部室棟建設

平成19年9月に設計会社によるコンペティションを行い設計会社が決定し、平成20年末の着工を目前に作業を進めています。

玉川第2体育館改修工事

玉川キャンパスの第2体育館地下1階の武道場2室の修繕と1階アリーナ体操競技施設の床等の改修工事を行いました。

玉川キャンパス西側道路整備工事

平成19年度において施工業者を選定し、平成20年4月から着工します。

ネットワークシステムのリプレース

従来のKOMAnet ネットワーク・サーバーシステムのリプレースを行い、より高いセキュリティの確保が実現しました。また、コンタクトセンターシステムの運用を開始したことから、トラブル・障害に対し迅速に対応できる体制を整えることができました。

事務用PCの新規リース

学内PCは機種機能向上に合わせ4年ごとに半数の入れ替えを実施していますが、19年度は167台のリース入れ替えを行いました。今回よりリース期間を5年に変更し、年間保守を取りやめスポット修繕で対応することになりました。

図書厚生棟建設

6号館1階学生食堂化改修工事

アスベスト撤去工事

8号館耐震改修工事

平成19年度に計画されていた以上の事業は、本校キャンパス再開計画の遅れ、及び麻疹の流行による全学休講の代替措置として夏季休暇中に補講が実施されたための工期不足等の理由により着手できませんでした。

【駒澤大学高等学校】

第3期校舎リニューアル工事

教室と廊下の間仕切の取替、黒板の貼替、教室及び廊下の内装並びに修道館（剣道場・柔道場）の壁板と床板の一部改修を行いました。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

学寮改修工事

シャワー室・洗面所の増設とトイレ改修工事を行いました。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

野球場等グラウンド整備

平成 18 年度に実施した野球場等グラウンドの移設工事の追加工事（ネット・防護フェンスの追加）を行いました。

校舎外構の緑化

野球場周辺の管理用通路の土盛り・植栽を行いました。

4 . 管理・運営

【駒澤大学】

事務組織の改革

平成 19 年度に実施された事務組織見直しは以下のとおりです。

- ・「総務部法人課」と「総合企画室」を統合し「法人企画室」を設置し、学校法人全体の管理運営機能の強化を図りました。
- ・法科大学院事務室を教務部に統合し、教務課「法科大学院係」とし、職務と組織の効率化を図りました。
- ・教務部学務課「研究支援係」を「教育研究助成係」と改称し、外部資金（受託研究、奨学研究寄付金）導入に積極的に取り組みました。
- ・深沢校舎の竣工に伴い「深沢校舎事務室」を設置し、玉川校舎及び夜間事務センターとともに独立の事務組織としました。

収益事業会社の設立

本法人が 100% 出資する事業会社「株式会社 KU サポート」を設立（平成 19 年 7 月 3 日付）し、これまで外部業者に委託していた業務を事業会社に発注することにより、経費の節減とサービスの向上及び資金の外部流出を防ぐことができます。

平成 19 年度の事業内容は以下のとおりです。

- ・ 施設管理業務
- ・ 物品調達業務
- ・ 有利購買業務
- ・ 図書館委託業務
- ・ 自動販売機管理業務
- ・ 学内出店売店等管理業務
- ・ 印刷センター運営管理業務

広報活動の充実

駒澤大学のブランド構築に向け、平成 19 年度は「駒澤大学 125 年」をテーマとしたロゴマークを中心に各種媒体を利用して周知を図りました。

相互評価・認証評価の公表

平成 18 年度に実施した「財団法人大学基準協会」の相互評価結果（学部・大学院）並びに「財団法人日弁連法務研究財団」の法科大学院認証評価結果については、大学ホームページ及び学園通信（7 月）を通じて、教職員・学生のみならず広く社会に公表しました。

【苦小牧駒澤大学】

開学 10 周年記念事業

開学 10 周年記念事業計画（民族文化資料室の設置、10 周年記念誌の発行、記念講演）に対する寄付金募集を平成 19 年 9 月 1 日から 12 月 31 日まで行いました。

平成 19 年 10 月 14 日に記念式典・祝賀会を行い、10 月 15 日に大講堂において「記念講演会」を開催しました。

10 周年記念誌「苦小牧駒澤大学の 10 年」の発行及び苦小牧駒澤大学紀要 18 号（開学 10 周年記念号）を作成しました。

「民族文化資料室」を本学ゲストハウス内に開設（10 月 14 日）し、公開しています。

【駒澤大学高等学校】

募金事業

開校 60 周年に向けての施設設備環境整備事業のため、募金を生徒の保護者及び一般から募集しました。

省エネルギー化対策の強化

世田谷区エネルギー消費量報告書制度を利用し、省エネ診断費用助成制度により実施した省エネ診断に基づき、省エネ機器の導入やランニングコストの削減に取り組んでいます。

【駒澤大学附属苦小牧高等学校】

個人情報保護への取り組み

学校で使用しているパソコンやデータの学校外持ち出し禁止、個人情報に係わる委託業者との守秘義務などの対応策を講じました。

危機管理

教育現場での様々な事故や不祥事を未然に防止するための研修や訓練、危機的状況に対し全教職員が適切に対応できるような事前の対策、緊急時や事後処理の対応等について、校長の諮問機関として「危機管理委員会」を設置しています。また、顧問弁護士を委員に加えてアドバイスを頂き、教職員研修会に講師として招いて実例を含めた講演会を開催しました。

A E D の設置

A E D 3 台を、クラブ後援会（本校の外部団体）のご協力により設置しました。緊急事態に備え全教職員が講習を受けて使用方法等の知識を身につけました。

5. 地域社会との連携及び貢献

【駒澤大学】

生涯学習の推進

大学の知的財産の社会還元を目的として地域貢献の一翼を担ってきた「公開講座」の会場を、秋季公開講座より駒沢キャンパス「中央講堂」から深沢キャンパス「120周年アカデミーホール」に移しました。これにより最新の施設設備を活用でき、一層充実した講座提供が可能となりました。

法科大学院による法律相談の実施

第一東京弁護士会との連携による無料法律相談を6月と11月に開催しました。近隣住民からの申込者が20人を超え、地域との連携を図ることに加え、学生がリーガル・クリニックの実務を肌で感じる機会となっています。

コミュニティ・ケアセンターの活動推進

個人、家族、地域社会等を対象にカウンセリングを行っています。1か月平均86件の心理相談を扱っており、最近では子供の発達・教育相談のケースが増えています。その他、地域住民を対象に自立訓練法講習会・発達検査や公開講座を開催しています。

禅文化歴史博物館

禅の文化と歴史をテーマとした博物館として、地域住民に開放しています。平成19年度は、館蔵資料を前期・後期に分けて展示したことや企画展示として大学史特別展等を実施したほか、後期には開館5周年記念として外部賃借資料を展示しました。また、セミナーとして「写経」や「ふれあい禅寺めぐり」を実施しています。

【苫小牧駒澤大学】

図書館・情報センターの一般公開

「アジアの食文化」について展示・紹介しました。韓国・中国（内モンゴル）・アイヌの食文化に関する図書、雑誌を展示し、韓国翰林大学・中国内モンゴルからの留学生に聞き取り調査をした内容と、アイヌ文化学生フォーラムの学生研究（アイヌの食）を一般利用者にもわかりやすく掲示紹介しました。新聞等にも掲載され、多くの市民の来館があり、大学図書館への理解を得ることができました。

市民聴講制度

平成19年度開講の373科目の内、80%に及び301科目を市民に向けた聴講可能な科目として開放しています。平成19年度は社会人を中心とした27人の聴講生を受け入れました。

苫小牧駒澤大学市民大学講座

苫小牧市の生涯学習活動の一環である市民大学講座を苫小牧市文化交流センターを会場として、6月（4回）、10月（3回）、11月（1回）に実施しました。

【駒澤大学高等学校】

公開講座等

学校施設を開放し、近隣住民や保護者を対象とした参禅会や、地域の子供たちを対象とした剣道教室、柔道教室を実施しました。

【駒澤大学附属岩見沢高等学校】

施設の貸出

旧教養部施設を育児施設及び介護事業の事務所として岩見沢市やその外郭団体に継続して貸し出し、施設の有効利用と地域社会との関係を深めました。また、校舎、体育館及びグラウンドを市民サークルの練習場として施設貸出を行いました。

地域への奉仕活動

坐禅体験教室

本校の坐禅堂を利用し坐禅体験教室を実施しています。

独居老人宅除雪作業

学校周辺の独居老人宅を訪問し除雪作業を実施しました。

地域清掃ボランティア

学校周辺の道路などのゴミを回収し地域の環境美化運動に参加しました。

農業水利施設緑化運動

土地改良区の協力の下、岩見沢市の緑化運動に参加しました。

【駒澤大学附属苫小牧高等学校】

ボランティア活動への取り組み

本校の社会福祉部が中心となり、管内にある福祉施設の慰問や文化行事への協力支援活動などを実施しました。この他に生徒会、仏教専修科及び部活動の生徒などによる地域清掃活動を定期的に行っています。

地域との連携

学校祭を実施するにあたり生徒主体の駒澤高校の教育実践をより知っていただくことを目的に、近隣住民にも広く案内を配布して、学校祭での催し物等を鑑賞していただきました。

苫小牧市民を対象にホームページやチラシ等で広く呼びかけ、本校坐禅堂において、年 10 回「駒澤高校日曜坐禅会」を実施しました。

・財務の概要

1. 資金収支計算書の推移

(収入の部)

(単位：千円)

科 目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
学生生徒等納付金収入	16,085,770	16,141,735	16,636,128
手数料収入	1,018,555	1,016,791	1,071,182
寄付金収入	274,008	219,493	354,026
補助金収入	2,129,101	2,085,172	2,049,609
資産運用収入	594,049	1,073,836	1,950,421
資産売却収入	1,936,554	3,500,667	2,257,333
事業収入	46,565	88,675	94,936
雑収入	816,804	398,780	771,404
借入金等収入	1,501,600	1,302,000	1,200
前受金収入	7,405,592	7,297,207	7,281,805
その他の収入	4,871,503	7,838,550	8,204,792
補助金繰入額	57,168	223,167	75,685
資金収入調整勘定	7,885,995	7,810,903	8,034,300
前年度繰越支払資金	15,561,492	13,989,115	14,573,070
収入の部合計	44,412,767	47,364,284	47,287,291

(支出の部)

科 目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
人件費支出	12,769,694	12,066,654	12,814,235
教育研究経費支出	4,435,606	4,456,848	4,547,241
管理経費支出	1,102,662	1,099,512	978,059
借入金等利息支出	133,117	155,250	160,606
借入金等返済支出	543,796	724,466	709,126
施設関係支出	2,783,615	5,352,680	555,382
設備関係支出	514,909	526,529	335,302
資産運用支出	7,972,284	7,633,218	14,279,948
その他の支出	457,056	971,970	472,696
補助金繰出額	57,168	223,167	75,685
〔予備費〕	0	0	0
資金支出調整勘定	346,256	419,079	329,640
次年度繰越支払資金	13,989,115	14,573,070	12,688,652
支出の部合計	44,412,767	47,364,284	47,287,291

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

法人内諸学校間の資金移動額を含む。

2. 消費収支計算書の推移

(消費収入の部)

(単位：千円)

科目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
学生生徒等納付金	16,085,770	16,141,735	16,636,128
手数料	1,018,555	1,016,791	1,071,182
寄付金	294,705	247,226	378,239
補助金	2,129,101	2,085,172	2,049,609
資産運用収入	594,049	1,073,836	1,950,421
資産売却差額	68,749	1,537,136	58,469
事業収入	46,565	88,675	94,936
雑収入	816,804	398,873	771,484
補助金繰入額	57,168	223,167	91,289
帰属収入合計	21,111,466	22,812,608	23,101,757
基本金組入額合計	1,954,792	4,160,542	2,964,559
消費収入の部合計	19,156,673	18,652,066	20,137,198

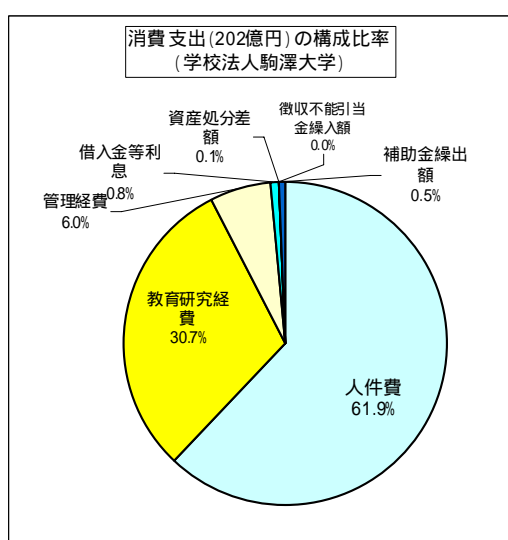
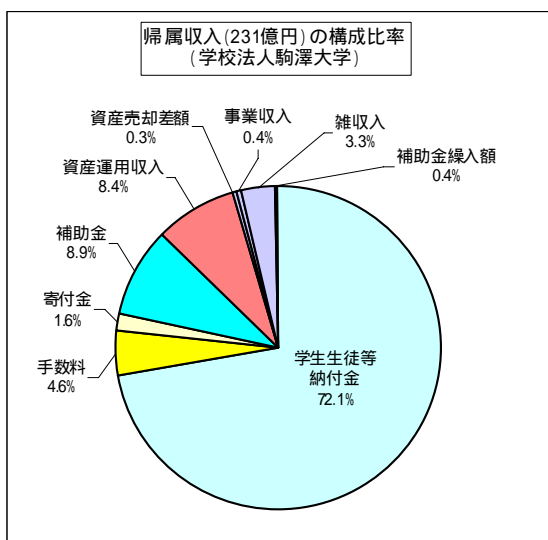
(消費支出の部)

科目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
人件費	12,491,606	11,809,643	12,551,850
教育研究経費	5,899,995	6,031,590	6,227,430
管理経費	1,317,206	1,308,178	1,208,898
借入金等利息	133,117	155,250	160,606
資産処分差額	675,308	110,571	20,466
徴収不能引当金繰入額	2,648	1,775	2,770
補助金繰出額	57,168	223,167	91,289
[予備費]	0	0	0
消費支出の部合計	20,577,047	19,640,174	20,263,309
当年度消費支出超過額	1,420,374	988,108	126,111
前年度繰越消費支出超過額	5,992,086	7,129,674	8,073,113
基本金取崩額	282,786	44,668	0
翌年度繰越消費支出超過額	7,129,674	8,073,113	8,199,224

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

法人内諸学校間の資金移動額を含む。

平成19年度 消費収支計算書の構成比率



3. 貸借対照表の推移

(資産の部)

(単位：千円)

科 目	平成17年度	平成18年度	平成19年度
固 定 資 産	69,011,534	73,681,891	74,493,604
有形固定資産	55,518,721	59,024,308	58,004,604
土 地	17,484,838	17,135,212	17,131,802
建 物	22,434,464	28,617,316	27,747,270
構 築 物	2,400,074	2,902,014	2,820,593
教育研究用機器備品	2,198,620	2,103,293	1,849,924
その他の機器備品	135,530	121,894	99,538
図 書	8,003,539	8,144,516	8,279,859
そ の 他	2,861,655	62	75,618
その他の固定資産	13,492,814	14,657,583	16,488,999
有 価 証 券	796,250	596,250	300,250
特 定 資 産	12,405,826	13,801,633	15,949,554
そ の 他	290,738	259,700	239,195
流 動 資 産	19,385,090	18,304,029	19,457,469
現 金 預 金	13,989,115	14,573,070	12,688,652
有 価 証 券	4,340,851	3,242,951	5,963,179
そ の 他	1,055,123	488,008	805,638
資 産 の 部 合 計	88,396,624	91,985,920	93,951,073

(負債、基本金、消費収支差額の部)

固 定 負 債	11,619,722	11,996,157	11,022,162
長 期 借 入 金	6,922,882	7,515,756	6,817,670
退職給与引当金	4,696,840	4,439,829	4,177,444
そ の 他	0	40,572	27,048
流 動 負 債	10,870,251	10,910,677	11,011,377
短 期 借 入 金	724,266	708,926	699,086
そ の 他	10,145,985	10,201,751	10,312,291
基 本 金	73,036,325	77,152,199	80,116,758
第 1 号 基 本 金	67,990,831	72,068,705	73,409,263
第 2 号 基 本 金	2,500,000	2,500,000	4,000,000
第 3 号 基 本 金	860,340	898,340	1,022,340
第 4 号 基 本 金	1,685,155	1,685,155	1,685,155
翌年度繰越消費支出超過額	7,129,674	8,073,113	8,199,224
負債、基本金、消費収支差額合計	88,396,624	91,985,920	93,951,073
減価償却額の累計額	19,618,133	21,123,805	22,859,012
基本金未組入額	7,618,739	8,277,738	7,549,008

百円単位を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

貸借対照表（平成17年度～19年度）

